

新しい時 新たな喜び 夢ある明日へ

新年あけまして
おめでとーございませう

元号が「令和」となった2019年は台風と大雨が原因となり、かつて無い規模の災害が発生し多くの尊い人命が奪われ、生活圏が大きく破壊されるなど温暖化による気候変動の影響が日本国内にも広がりをみせました。改めてお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともにご遺族と被災された方々にお見舞い申し上げます。二日も早い復興を願っています。

新たに迎えた2020年ですが、世界の情勢を見ますと就任以来独自路線を貫き11月の大統領選挙で再選を目指す米大統領は、好調な国内景気や雇用環境を背景に自身の経済政策の成果を強調していますが、米中貿易摩擦や中東ロシアなどの外交問題の悪化、側近解任が続く共和党内の混乱やウクライナ問題に端を発した米史上4人目となる大統領の弾劾調査など、数々の問題を抱えています。

とりわけ米国内にとってもトランプ大統領自身にとっても最大の懸案事項である米中貿易交渉の最終局面を前に、香港民主化デモを支持し米国内上下両院が圧倒的多数で可決した「香港人権民主主義法案」を署名成立させたことで中国政府が「内政干渉」と激しく反論し、報復措置を表明したことから緊張感が増す中でこの交渉妥結を目指さなければならぬという難しい局面に立たされ、世界経済への影響が極めて深刻なこの「覇権争い」に全世界が注目しており、予断を許さない状況となっています。

また日本国内では、昨年10月の消費税率引上げの経済に与える反動が軽減税率導入や教育・保育の無償化などの対策によって想定より少なく、内需の堅調さや個人消費の安定、雇用環境改善等によって国内経済は安定していると見られています。一方で先行きを見ると全く影響力の及ばない「米中貿易戦争」の行方に左右されるという極めて不安定な「受け身」の状況を強いられています。

隣国韓国との関係においても混迷する歴史問題に加え、「親中離米」の外交方針をとる文在寅政権によって米国を含めた三国関係の緊張度が高まっております。軍事協定を巡って日韓両国に対するトランプ大統領の米軍駐留経費負担増額要求など、安倍政権の慎重かつ的確な外交手腕が一層

問われる状況となっています。

また安倍首相が就任以来謳ってきた「デジタル脱却」が成果に結びつかず、「成長と分配の好循環」には程遠い、実感のない経済政策に対しても国民の不満は増幅しており、そうした中で「森友 加計問題」に始まり、「閣僚の失言・スキャンダル」、「文書改ざん」などその全てがあいまいなまま、主要閣僚の辞任が続き新たな年を迎えましたが、昨年末から野党が追及を強める「桜を見る会」問題は、安倍政権終焉の始まり、とまで言われ、これまで高支持率と安定議席によって近代史上最長の政権を維持してきた安倍内閣最大の危機となつています。

このように国内の政治や経済が不安定な状況下、我々が従事する旅客自動車産業においても国策による「AIの積極活用」、「キャッシュレス化」や「インバウンド対策」、「業界が進める『活性化策』などめまぐるしい速さで変化を余儀なくされており、労働力確保や設備投資などの先行投資も含め、この産業にとつては険しい道が続いています。

特に「インバウンド対策」と称し、規制緩和と推進派が強烈に推し進める「ライドシェア新法」については業界の主要産別労働組合が結集し、その実情を社会に発信してきたことで、これまで一定限の歯止めを掛けてきましたが、すでに巨額の投資を終えている業界外の巨大資本や外国人経営者は「プラットフォーム」としてこの業界の流入を諦めてはならず、その法律制定を見据えてタクシ事業だけでなく、ハイヤー事業やバス事業にまで様々な形で浸食し始めており、今後ハイタクバスの労働組合としての力を集め、利用者の安心安全と我々の市場、職場を守る取り組みをしていかなければなりません。

しかしながら人口減少による労働力の減少や働き方改革を背景とした「省力化」がもたらすこうした時代の変化や技術革新には逆らうことは不可能であり、業界を挙げた「既得権の保護」だけを謳っている社会から取り残されてしまう状況です。むしろいかに迅速に流れを掴み、新しい時代に向けて柔軟に変化していくか」という視点を持たなければなりません。

こうした変化の激しい時代にあつて我々が従事する国際自動車は、業界を代表する企業の一つとして産業の存続・発展と自社の永続的發展に向けて様々な挑戦をしなければなりません。

労働力確保の面ではこの業界の長い歴史の中で実現不可能といわれた「学卒者」の採用や女性乗務員の積極採用が企業経営の根幹をなす稼働向上の面において同業他社に無い大きな成果を上げています。



国際労働組合中央執行委員長
北里裕治

また、決済システム構築が各企業にとつて大きな負担となる「国民総キャッシュレス化」の政策においても日本を代表する企業「SONY」との共同会社「みんなのタクシー」による「SRIDE」が着実に成長しており、需要の拡大や労働者の負担軽減による省力化に貢献してきています。今後もAIによる需要予測や事故形態の分析による生産効率向上を目指し、一方で新しい交通社会の形と言われる「MaaS」についても国際自動車独自のアプリ「フルクル」を通じてJR東日本との実証実験が着実に進んでいます。

しかしながら、こうした様々な施策においてもハイヤー・タクシ・バス内勤整備士への組合員一人一人の理解と「kmプランD」に対する強い気持ちが無ければ、どれも成果には結びつけることができません。変化が激しく、厳しい局面だからこそ目指すべき未来を共有し全組合員が結束することが最も大切だと考えています。

ハイタクバス産業が事業の収益構造や労働者の働き方まで変化を余儀なくされる中で、これまでこの業界において「既成概念や古い慣習に囚われない柔軟な組織」を目指した国際労働組合の組合員が「高付加価値の労働力集団」として社会から信頼されるブランドを築いてきた誇りと高い倫理観を維持しながら、時代の変化に立ち向かい、見え始めてきた「未来の交通社会」においても「kmブランド」が常に選ばれられる存在であり続けるように進んでいかなければならないと考えています。

国際労働組合は、不安定で不確実なこの業界において最大規模の労働組合としての社会的責任の達成と業界の発展に注力することはもとより、我々組合員で綿々と築き上げてきた「kmブランド」の更なる向上こそが、「未来の柱」と捉え、労働組合の持つ「要求チェック・共済」機能を發揮しながら全組合員で団結し、労働者の明るい未来と生活を守るため、持続性のある取り組みをして参りたいと考えております。

本年もより一層のご理解・ご協力をお願い申し上げますとともに、末筆ながら関係する全ての皆様のご健康とご家族のご多幸を心より祈念申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。

第27回 写真コンテスト 最優秀賞「百花繚乱」 丸の内支部 吉川 敏宏さん



第43回 全中労定期大会

2019年11月21日(木)、全中労(全国中立労組政策推進会議)は、日暮里ホテル ラングウッドにて北海道、名古屋、埼玉、東京より約70名が出席し、第43回定期大会を開催しました。

冒頭、北里議長より挨拶(別掲)があり、各地域議長(後藤北海道議長、杉本東海議長、小島東京議長)の挨拶と続き、2019年度活動報告、2019年度会計報告、同会計監査報告が承認されました。続いて2020年度の運動方針(案)・予算案が提案され全会一致で可決されました。

最後に加藤幹事(西武ハイヤー労働組合書記長)による大会宣言が採択された後、井上幹事(北見金星自動車労働組合執行委員長)の首領による力強い突き上げが行われ、大会は成功裡に終了しました。

全中労は、俯瞰的な視点から真の利用者利便向上を目指すとともに、ハイタク・バス産業に働く労働者が将来に希望の持てる産業とするために必要な政策・制度を提言し、安心・安全を提供する真の国策に資する活動を展開していきます。

北里全中労議長 挨拶

皆さん、こんにちは。私はこれまで、巨大プラットフォームの進出で業界のコントロールが利かなくなりつつある話や、確実な原資もないのに「ライドシェア対策」と称して20項目もの活性化策を実行させられていることなど、不満や不安をお話ししてきましたが、これらの問題は一つ解決していませんし、良い方向に向かってもいません。むしろ一つの「矛盾」に次の「矛盾」がどんどん積み重なっていき、感じがしてきます。

そんな中、今度はまったく次元の違う問題が発生しました。皆さんもご存じの通り、10月1日の消費税増税と同時に運賃改定を予定していた全国48ブロックにおける運賃改定の先送り問題です。

全中労に関係する地域としても、北海道と東京の多摩地区、埼玉県で予定されていた。先送り問題です。



北里全中労議長

「公示期限であった8月30日の「物価問題に関する関係関係会議」に当たり、複数の関係省庁から、消費税引き上げに伴う運賃改定と通常の運賃改定を同時に進めるべきという意見が示された。これを踏まえ、消費税増税以外の通常の運賃改定については、引き続き審査を継続する」と国交省自動車局旅客課が説明したそう。

「これは一体どういうことなんだ？」と思いませんか。実はこの「物価問題に関する関係関係会議」で議論に上がるのは東京の運賃改定だけなのです。今回は、東京は運賃改定の要請をしていますが、この「関係関係会議」で議論する必要はありません。

「複数の省庁から」とありますが、これは内閣府と経産省、消費者庁のことです。運賃改定のルールを満たし、「運賃改定の必要あり」と判断したものに對して「より丁寧な検討」とは果たして何なのか。さらに、そのルールを記した法律は何か。ましてやタクシー社会の覆いにかつて、運賃改定の権限を握っているのは国交省なのです。普通ならそんなものは突っぱねるはず。ではなぜ、運賃改定を先送りにせざるを得なくなったのでしょうか。

状況からみて何らかの強い力が加わったことは間違いありませんが、それが何であつたかはまだ分かっていません。各省が「横並び」であるはずにもかかわらず、他の省庁からの異論に屈してしまうとは思えません。だとしたら「上」である「官邸」からの圧力でしょうか。「物価問題に関する関係関係会議」の主宰者である官房長官か?と疑う声も少なくありません。

タクシー業界がライドシェアに反対してきたから、その意図返しではないかと疑う人もいます。圧力があつたのは事実でしょうが、それが官房長官によるものだという見方は推測の域を出ず、証拠はどこにもありませんし、所謂「忖度」かもしれません。

何よりも問題なのは、先送りされた運賃改定がいつ実施されるのか、いまだに国

交省が明らかにしていないことです。万が一、このまま年度末を迎え、2020年度になってしまつたら、改定申請に必要な提出した数値を新しい年度のものに差し替へねばならなくなります。そうなれば一から仕切り直しさせられるのも同然で、再度大きな手間暇が必要となります。

現在も全タク連をはじめ各地域の業界団体は国交省や地方運輸局に対し、早期の運賃改定実施と、消費税10%時に改定したメーターを再度、改定しなければならず、その改定費の補助を求めて陳情を行っています。その甲斐があつてか、11月6日に大分県で開かれた今年の全タク連事業者大会には赤羽(あかば)国交大臣が来賓出席し、「私は約束したことは実行する政治家だ」と挨拶しました。これまで国会の会期中に担当大臣が出席したことは無く、業界紙の記者によると、それを聞いた事業者などの間では、運賃改定の先行きを楽観視する雰囲気が出たそう。

私はそれを聞いて、何とも言えない違和感を覚えました。事業者団体は、一生懸命、陳情をしてきたのかもしれないが、根本的なところで「怒りが足りない」ように感じます。

先ほども言いましたが今回の運賃改定にあたり、事業者は「総括原価方式」に則つて不可欠なコストを積み上げ、7割ルールもクリアし、利用者に説明責任を

果たし、運輸局からは「運賃変更の必要がある」とのお墨付きを得ました。また、運賃改定のたびにメーターの改造費が発生することから、各地方運輸局は改造費の負担を避ける意味でも、「消費税引き上げのタイミングと同時」を容認していたわけ。

つまり定められた手続きと行政の指導に沿つてやつてきたのですから法的には何一つ瑕疵はありません。

ではなぜ運賃改定ができないのでしょうか。適正な手続きを踏んでいるにもかかわらず実施されないのだとしたら、行政の不作為による被害を食い止めるために訴訟に持ち込むことも可能だということに、事業者団体はなぜもつと怒らないのでしょうか。

さらに言いますと、先ほどと同じ「物価問題に関する関係関係会議」では、赤字経営を理由としたJ.R北海道が消費税増税と同時実施で9.3%の運賃改定を認められているのです。同じ公共交通機関でありながら、この扱いの違いは、いったい何なのでしょう。消費税引き上げの同時実施を理由にしてタクシーの運賃改定を認めないのであれば、同じくJ.R北海道の運賃改定が認められたことは到底理解できませんし、この点には行政の確かな答弁もありません。

われわれタクシー業界は年々増額する最低賃金の対応はもろろ、「公共交通機関だ」と認識しているからこそ、国が「インバウンド対策だ」と言えば外国人接客研修に取り組み、「キャッシュレス化だ」と言えば決済機設置のために先行投資も行います。それにもかかわらず、これを「総括原価」として積み上げ、わずかな利益を乗せてはじき出した運賃が認められないのだとしたら、経営者は何を頼りに経営していけばよいのでしょうか。そしてわれわれ労働者は何に期待して、より大変になっていく労働に耐えればよいのかと考えるてしまいませんか。

事業者は表だっては言えないかもしれませんが、業界と国交省の信頼関係は「運賃」という業界にとって最も大切なものをめぐつて、著しく毀損されてしまいました。本来の「がんばりがめ」の運賃決定方式に苦しみられるのであれば、自分たちでかつかつたコストを計算し、適正な利益を乗せて、お客様が受け入れてくださる運賃を自分たちで設定する方が、よほど健全ではないかと感じます。今回のことが「運賃の自由化」や従前から主張する「総括原価方式の在り方」を真剣に議論する新たなきっかけになればよいと思います。



2020年度 全中労役員

した。1カ月後の12月下旬は繁忙期真っただ中ですから、11月中の運賃公示はもうあり得ず、よって年内の運賃改定もないでしょう。今年度末までの実施さえ100%確実とはとても言えない状況です。

東京業界では「48ブロックの運賃改定問題が解決しなければ、東京は改定要請ができない」という意見が有力ですが、そのようなことを言っているのは、いつになっても東京も様々な設備投資や労働者の確保、待遇改善のための運賃改定をすることはできないと思います。今すぐにも運賃改定要請を始めるべきだと考えています。運賃改定要請を行つてこそ、東京もこの理解不能な問題に腰を据えて取り組めると思います。

このように「タクシーは本場に公共交通機関として認められているのか」と疑問が生じる中で、以前にもお話ししましたが、「自家用有償旅客運送」の適用を拡大しようという動きが着々と進行しています。当初は「タクシー事業者も自家用有償旅客運送の拡大に協力せよ」といった内容でしたが、「交通空白地」だけでなく「交通空白時間」についても拡大しようという流れになってきています。

そうすれば都市部でも、「交通が空白になる時間帯がある」という理屈で、自家用有償旅客運送が認められることになり、都市部で二種免許の車両が他人を乗せて走り出したら行政は果たしてコントロールしきれぬでしょうか。

しかも、タクシー業界は、都内繁華街の一部において一種免許で旅客を運送する「CREW」を禁止させることにも失敗しています。「CREW」はおそらく、自家用有償旅客運送が拡大され、自分たちのフィールドが広がることを狙つており、制度改正とともに全面展開してくるでしょう。「二種免許」の存続まで危ぶまれているにもかかわらず、運賃改定問題でこのように業界・事業者と国交省との関係がギクシャクしているというのは、本当に危機的な状況だと感じています。

その意味では、今こそ労働組合の役割があると言えるのではないのでしょうか。そのためには、それぞれがまず企業内労組として組織の力を蓄え、さらにその力を差別活動に結集させ、この業界に働く労働者の職場、地位を守つていく取り組みをしなければなりません。

組織の規模が縮小する中、産業全体で集い、その結集した力で社会に訴えていくことが必要不可欠となっています。そのことを最後に訴えて議長挨拶と致します。

先ほどの全タク連事業者大会での赤羽大臣の来賓挨拶があつてから、今日ですでに2週間が経ち、11月も下旬となりま

た。1カ月後の12月下旬は繁忙期真っただ中ですから、11月中の運賃公示はもうあり得ず、よって年内の運賃改定もないでしょう。今年度末までの実施さえ100%確実とはとても言えない状況です。

先ほどの全タク連事業者大会での赤羽大臣の来賓挨拶があつてから、今日です

2020年度 全中労役員

役職名	氏名	出身単組名・役職名
議長	北里 裕治	国際労働組合中央執行委員長
副議長	後藤 寿亜樹	全中労北海道・全金星自動車労働組合連合会議長 北海道中央タクシー労働組合執行委員長
	杉本 英徳	全中労東海・東海中立労組協議会議長 名古屋近鉄タクシー労働組合執行委員長
	行木 幸男	全中労東京・東京ハイタク観光バス労組協議会議長 西武ハイヤー労働組合執行委員長
	石田 欽久	国際労働組合中央書記長
事務局長	井上 剛	北見金星自動車労働組合執行委員長
幹事	吉田 克美	都タクシー親睦会従業員代表
	平瀬 昇	中央交通労働組合執行委員長
	河合 公彦	東和交通労働組合執行委員長
	中山 弥寿	西武ハイヤー労働組合副執行委員長
	加藤 雅也	西武ハイヤー労働組合書記長
	田北 章	国際労働組合中央副執行委員長
	中村 幸一	国際労働組合中央常任執行委員
会計	刈屋 孝徳	西武ハイヤー労働組合執行委員
会計監査	友永 昭典	国際労働組合中央執行委員
事務局	神谷 浩	国際労働組合中央常任執行委員

政策・制度要求課題

- 公共交通輸送機関としてふさわしい公的助成措置の確立
- 道路交通法・道路運送法・その他交通・労働行政諸法規の徹底と指導
- ハイ・タク産業の秩序を乱す白タクの排除と、NPO(特定非営利活動法人)の有償輸送の不法営業取締り
- 大都市圏における渋滞緩和措置の推進
- 営業車両の車検については初年度3年間、以降1年毎に設定
- 安全対策と交通環境改善対策

交通機関の一員としてハイ・タク・バスに課せられた安全輸送の責務は、我々の労働条件はもとより道路交通の整備と密接な関係を持っている。安全輸送対策として次の具体的内容を各方面に要求する。

 - 道路の拡張と整備及び交通標識の改善
 - 交通環境に見合った合理的な速度制限
 - 利用者の安全と利便、走行効率の面からタクシー乗り場の適切な設置と充実
 - 公共輸送機関であるタクシー乗車時におけるバスレーンの併用使用
 - タクシー乗務員の休憩所、食堂、トイレの設置拡充
 - 観光バスの観光地における駐車場の設置拡充
 - 観光バス利用客のための高速道路サービスエリアにおける路線バス停留所設置拡充
- 自動車税の減免措置の確立
- 市場の変化や需給調整に伴うハイ・タク産業の遊休資産の有効活用
- 安全・信頼を阻害する恐れのある「ライドシェア」の導入に反対する。

国際労働組合は

「禁煙促進運動」に取り組んでいます

2019年5月31日、世界保健機関(WHO)が定める「世界禁煙デー(毎年5月31日)」に合わせ、国際自動車西川社長より「kmグループ禁煙促進宣言」が発表されました。

2018年度の日本の喫煙率が17.9%となつているなか、国際自動車従業員の喫煙率は39.8%あり、全国平均の2倍以上となっています。また、国際自動車健康保険組合のデータによると、癌、呼吸器、循環器などの疾患による傷病手当金受給者の喫煙率が非常に高く、喫煙と疾患の因果関係は定かではありませんが、少なくとも健康に及ぼす影響を考えると看過できない状況となっています。

宣言による具体的な取り組み内容としては、
1. kmグループ全体の喫煙率の半減：2025年までに喫煙率20%達成を目標
2. 各事業所における喫煙率の低減：各年前年より5%減を目標
3. 禁煙推進プログラムの推進：2019年度に中央安全衛生委員会が検討及び決定

となっており、特に中央安全衛生委員会において労使による「禁煙促進ワーキンググループ」を立ち上げ、「やめたい人にはサポートを、吸う人にはルールを」を基本方針とした禁煙促進へ向けての協議を進めてきました。

協議のなかで会社内の各部署や健保組合は勿論のこと国際労働組合としても具体的なアクションプランを掲げており、「組合員の健康増進」「喫煙に起因する苦情の撲滅」によるkmブランドの向上、「健康で気持ちよく働くことのできる職場環境の実現」「健康増進による健保財政の負担軽減」に向け取り組みを行っています。

国際労働組合の具体的な取り組みの第一弾として、2019年11月28日～12月27日までの1か月間を応募期間とし、中央労働金庫が関支店の協賛を仰ぎ「禁煙応援預金キャンペーン」を実施しました。キャンペーンは、禁煙チャレンジャーのエントリーをすることで、記念のQUOカードがもらえ、また、禁煙により浮いた「たばこ代」をエース預金に回し、1年間継続して禁煙とエース預金に成功すれば、旅行券などの特典が与えられる内容となっています。



国際労働組合では、今後も「禁煙チャレンジャー」がし易い、様々な「きっかけ」や「機会創出」を図り、会社、健保とともに健康増進と働くみんなが気持ちよく過ごすことの実現を目指してまいります。

迎春

子



新年あけましておめでとうございます。皆様のご家庭では、気持ちも新たに新年をお迎えのことと思います。報道部では、新年特集号として、今年の干支「子年」生まれの組合員の皆様より、ご家族との暖かいふれあいエピソードを寄稿していただきました。

人物探訪



「小山台吹奏楽団」所属
女性チューバ奏者

みやま ゆなみ
宮内 由南さん
(羽田支部)

今回は、女性でありながら金管楽器の中で最も大きなチューバを演奏されている、国際労働組合羽田支部の宮内由南さんについてご紹介いたします。

2018年に新卒乗務社員として入社された宮内さんは、なんとチューバを背負って営業所に通勤されているのウワサが、どうしてそんなことになっているのか、ご本人に詳しく聞いてみたい……ということで、インタビューをさせていただきました。

編集：女性が大きなチューバを背負っているという目撃情報が入りましたが、宮内さんで間違いないでしょうか？

宮内：はい、私だと思います(笑)。今、市民楽団の「小山台吹奏楽団」に所属していて、そこでの練習のためにチューバを持ってきました。楽器とケース合わせて15kgくらいになってしま

ので結構重いんですよ(苦笑)。もう慣れただけです。

編集：結構どころではない気がしますが……宮内さんはいつからチューバを演奏するようになったのでしょうか？

宮内：高校の時からです。そこからずっと続けているので、いま9年目になります。高校で吹奏楽、大学でオーケストラをやった、現在は市民楽団の一員として演奏会に出させてくださいたいです。

編集：チューバ一筋、という感じですね。でもこんなに大きなチューバを持ち歩くなんて、ご自身で買われた楽器をよほど大切にしているんですね。

宮内：いえ、もちろん大事にしていますけど、実は営業所に持ってきているチューバは、私の所属する楽団からお借りしているものなんです。チューバは安いものでも80万円はするので、私には高くてまだ買えません……。

編集：安くても80万円……そう考えると、借りて練習できるのは良いですね。

宮内：はい、それがこの楽団を選んだ理由の一つです。ただ練習場所として学校の施設を使っているのですが、楽器を置いておくことができません。チューバを持ち歩いていきます。仕事明けで練習に行くので、睡眠時間を確保するために、家に帰らず営業所で仮眠しています。日曜日が基本的に練習日なので、土曜日の朝、バスが一緒の方は「なんだあれ」ってなるのだと思います(笑)。

編集：背負っている理由がよくわかりました(笑)。普段どんな場所で演奏会を行っているのですか？

宮内：大井町やスクエア荏原など、だいたい品川でやっています。一般の方も無料で聴きに来ら

れますよ。ツイッターやインスタで情報発信をしていますし、YouTubeで動画も見られます。

編集：仕事明けで練習へ行く努力を知ることが出来たので、演奏会の様子を見たらもっと感動してほしいですね。

宮内：ありがとうございます。中学から楽器を始める人が周りに多い中、私は高校から始めた強者なので、もともと楽器をやり続けるモチベーションは高かったのかも知れません。高1の時は同級生の子が演奏会に参加している中、後ろでポツンと見ているという感じで。高2で先生に演奏会に出るためのテストで「合格」と言ってもらった時は、すごく嬉しくて泣いちゃいました。今でも、演奏会でずっと練習してきたものをみんなの前で発表できる時は嬉しかったです。「やり遂げた」という気持ちになります。

編集：とてもいいエピソードですね。楽器と仕事が両立できているのも素晴らしいです。

宮内：社会人になって楽器をやめてしまおう人が多くて、せっかく続けたのにチューバやめちゃうのはもったいないなあと思っていました。ところがタクシードライバーの仕事を始めて、はつきり「楽器を続けよう」と思いました。実際に入社してもすぐにできるとは思っていませんでしたが、環境や周囲に恵まれて続けられているので、ありがたいです。

編集：これからも続けていけるといいですね。国際労働組合の行事に参加されたことはありますか？

宮内：2019年のレディースサークルに参加しました。ホテルオークラで食事なんてしたことないです、すごくびっくりしました！話で聞いていましたが、実際に参加してみてもすごいなあと思いました。KLUフェスティバルなど他



大きなチューバを演奏する宮内さん

家族で思い出を共有できています

私は、主人がこの会社に入社してくれて、本当に良かったと思っています。

現在、うちには二人の子が居るのですが、子の幼稚園でのイベントや旅行のときに有給休暇を使って、家族全員で思い出を共有することが出来て、大変嬉しいんです。

また、労働形態についても考慮して頂き、朝に出勤して夜に帰宅するというサイクルで生活することができており、夜に子ども達と触れ合う時間が持てており、父のことを好きな子ども達も喜んでおります。

年に一度行われるKLUフェスティバルも、家族皆で楽しみにしており、毎年参加させて頂いております。家から少し遠い遊園

地などは、親が不精な為、行ったことが無かったのですが、KLUフェスティバルに行ってみて「こんな良いところがあったんだね」と主人と話していました。怖がりなところがある上の子は、KLUフェスティバルで行った遊園地で初めて「お楽しみコースター」に乗り、「いがいとたのしかったね〜！」と嬉しそうに話していました。

夏季レクも夏休み後半の楽しみになっており、夏季レクの前の日には「あしたバスでお出かけだから、今日はもうねる〜」と、自分のリュックサックに翌日着る服を入れてから、早めに寝室へと向かいます。歩き始めたばかりの下の子も、楽しそうに歩き回っ

台東支部 内山さんご一家

ていました。

これからも、国際労働組合さんが企画されるイベントには、家族揃って参加させて頂きたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

台東支部 内山 晃希



国際労働組合と私

三鷹支部 並木さんご一家

商人の家に生まれ育った私は、縁があり国際自動車に49歳の時に入社しました。家族は、妻と長男と次男の4人です。当時2人の子供は、21歳と19歳で、長男が専門学校、次男が大学生と学費が大変で、共働きで頑張っていました。

転職ストレスの多い日々が続く中で助けられたのは、国際労働組合の仲間でした。

入社した頃は、タクシー乗務社員は話すことの少ない仕事だと思いました。チームで連携して仕事をやるというよりは、個人プレーですからね。成果もすべて自己責任。話なんかなくても仕事はできます。そんなところに少し物足りなさを感じたこともありました。事故や違反しても仲間でも共有することもない。最低限内勤班長の方と話せば仕事は済む。他の乗務社員の方と話して仕事を進めることはなし。そんな日々の仕事には耐えられないと。

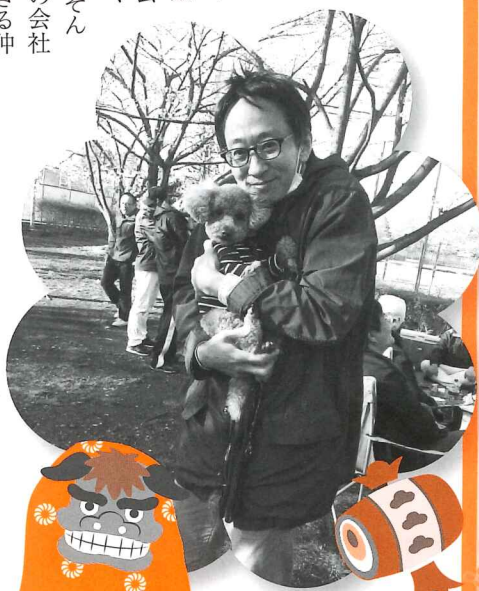
そんなある日の朝、当時はわかりませんでした。国際労働組合の役員をしていた先輩から事務所まで声をかけられ、仕事終わりの歓迎会の飲み会に誘われました。友人、そして組合の関係は、すべてはそこから始まったのです。さっそく興味があったソフト部に加入しました。

ソフトボール部の練習や、地域の大会に出場したり、一泊で合宿に行ったりもしました。仕事以外での同僚のふれあいは、私にはとても楽しい時間として、いつの間にか増えていきました。そんな楽しい仲間が多くなると会社主催のイベント等に積極的に参加するようになり、仕事上のわからない事も気軽に話ができ、会社へ来ることも楽しくなり、飲み会等ではストレスも発散できました。悩み事だつて友人たちと接していれば、どこかへ飛んでいきます。話して解決しないことも

組合に相談しやすくなりました。組合があり仲間がいる。それぞれに話をする場所があるというのが、スムーズな人間関係を作り、楽しい時間が増えることでストレスが減っていくでしょう。

誰も知らない会社に入社した時は、不安100%からスタートです。もちろん期待もあるかもしれない。居心地の良い会社のほうが良いのは当然ですね。ただ、自分が黙っているのは、何も変わりません。そんな慣れない不安いづばいの知らない人達の会社組織に入った時、仕事はもちろん信頼できる仲間を創るのは大切だと思います。クラブ等を運営する組合は大きな助けになるのではないのでしょうか？

一時期はクラブに3つ入っていました。それぞれが楽しいクラブ活動でした。仲間同士で、クラブを立ち上げたこともありました。組織の中では時には自分を抑えることも必要です。だからこそ、発散する場所も必要です。それは人それぞれ違うと思いますが、労働組合の行事(クラブ)に積極的に参加すること



は、大きな変化を自分に与えてくれると思います。

私がこの寄稿文を書いていることも大きな変化です。意外と身近なところに楽しい事や、信頼できる仲間がいます。

入社当時、学生だった息子たちは、10年が経ち立派な社会人になり、そしていつの間にか私は来年度を迎えます(笑)。

三鷹支部 並木 秀樹

初めての組合

丸の内支部 木村さんご一家

組合といったら、私には何も思い出がありません。なぜか？をこの作文に書きます。

私が組合といったら思い出がない事は、昨年末に転職し、今年の五月下旬に組合の説明会に参加し、それから半年も経過してないからです。もう一つ、組合のない企業に28年間居たからです。

入社後、組合の方に私が分からない事を質問すると、丁寧に答えてくださいました。「会社と一緒に盛り上げていこう」と言葉をかけてくださいました。私は勝つために集まった同志だと思いついて、できることを精一杯やってみようという気持ちを変えたいと思います。今後の行事等には可能な限り参加させて頂きます。

最後に国際労働組合の皆様方のご発展とご健康を心よりお祈り申し上げます。

丸の内支部 木村 賢治

国際自動車に入社して

羽田支部 相原さんご一家

新年あけましておめでとうございませす。

私は平成28年8月に入社しました。

私が国際自動車株式会社城南に入社する前は、大学を卒業して約10年余り、地方公務員として働いてまいりました。ですがこの約10年というのも仕事が激務で、さらに風通しの悪い環境であったため、家に居る時も家族に冷たく

あたつてしまつていたので、妻から「そんなに辛い思いをしているなら、転職すればいいよ。」と言われ、気持ちが楽になりました。

転職後、今までは180度違う仕事環境の良さを感じています。

売り上げが良いときは、上司である課長や班長に褒めてもらえるし、都内の道や流し方を上司や先輩に相談すれば、親切、丁寧に教えてもらえることもあり、とても働きやすい環境です。

家でも妻や娘から、以前より顔つきが優しくなつたと言われるようになりました。

それも国際労働組合がしっかりと活動されているからこそ、会社もより良くなつていくのではないかと考えています。恥ずかしながら、私は前職で地方公務員として働いてい



新たな仲間とともに

羽田支部 櫻木谷さんご一家

組合員の皆様、新年あけましておめでとうございませす。

私は平成三十年の五月に入社しました。当初は日々の業務を淡々と続けていたが、国際労働組合の加入説明を受けた際に、この支部にはいろいろなクラブがあるんだけど、以前何かやってたかと聞かれ、学生の頃、卓球をやっていたことを話しました。実はあまりはつきりとは覚えていないのですが(笑)。

翌年の四月、本部大会が行われる際、米村支部長が私に声をかけてくださいました。学生時代に私が卓球をやっていたことを覚えてくださつて、参加してみたら？という事でした。その後、話を聞いた卓球部の部長が自分たちと一緒に大会に出ないか？と誘つてきてくださいます。同じ課の仲間数人と一緒に大会にエントリーすることとなりました。

実は私は、卓球はかなり以前からやっていたのですが、組合の方から、他の支部には

かなりの「つわもの」がいると聞き、とりえず一番下のクラスの三部にエントリーすることにしました。そうしたらなんと、三部で優勝することができました。卓球部の部長をはじめ、支部の皆様からたくさんのお祝いの言葉をいただき、正直うれしかったです。

その後、組合活動に興味をわいて、五月のKLUフェスティバルと八月の夏季レクリエーションには妻と子供も連れて参加しました。また、卓球部の練習にも積極的に参加させていただいています。

羽田支部 櫻木谷 力

限り組合活動には積極的に関わつていきたいと思つています。とりえずは次回の本部卓球大会で、二部の上位入賞が目標です(笑)。

最後になりましたが、国際労働組合に関わる全ての皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。



家族そろって七五三?

品川支部 小田切さんご一家



新年明けましておめでとうございます。
主人が国際自動車に入社して十五年が経ちました。主人が言うにはこんなに長く勤続した会社は初めてとの事です。この十五年を短く見るのは私達の親世代、終身雇用が当たり前の時代を生きた方々だと思いますが、私達は就職氷河期世代なので十五年は続いた方と捉えている一方で、転職を



重ねても正社員としてここまで勤務出来た事はこの先の社会保障を考えれば幸せな事と思います。ひよんな事がきっかけで主人と私は付き合い結婚し、2016年娘が誕生し、マンションの管理人さんから「お孫さんですか?」と言われ二人で顔を合わせ「やっぱりそうだよね(笑)」と笑いあつて、生活をスタートさせたのを思い出します。その娘も令和元年三歳になり七五三のお祝いをしました。主人は〇七歳、私は〇五歳、そして娘はリアル三歳で改元の記念すべき年に家族そろって思い出に残る七五三にする事が出来ました(笑)。娘は今や口達者になり、主人の大きなお腹を力一杯押し「大きなお腹元に戻れ〜」と言つては主人をタジタジしていますが、未だに娘の願いは成就しておりません(笑)。赤ちゃんのオムツ替え、お風呂に入れる事を苦にもせずに普通にやってくれている事、子煩悩な一面、子供目線に立つて遊んでくれているのがとても意外でした。娘も優しい父親と思つているので、時々悪戯を「ダメだよ」と叱ると娘はと

てもシヨックに思われしく「お父ちゃんがメーター言ったの」と私に告げ口をしてくるのが微笑ましく、逆に母親の私が叱つても誰にも告げ口しない娘に何だよ(怒)と思いつつも、母親は叱る人怒る人と既に理解している娘を、もう赤ちゃんではないんだ、一人人として対峙しないと感じ取られてしまふのだと日々子供に教えられています。
主人は普段は気にもされない地味で地道な組合活動をしているかもしれないが、様々な境遇の方々を支えていることを誇りに自信を持って頑張つて欲しいと思います。家庭ではもう太さは十分あるので何があつてもブレない大黒柱でいて下さい。いつだって冷静で声を荒げる事が無い人柄を尊敬しています。家族三人お手々繋いで歩いて行きましょうねお父ちゃん(笑)
最後に家に宿題と愚痴は持ち帰らないで下さいお父ちゃん(笑)。
品川支部 小田切 靖典 和代

大変ですがたのしみも

丸の内支部 小泉さんご一家

新年あけましておめでとうございます。
私は最初、北千住支部でお世話になり、その後台東支部、現在は丸の内支部でお世話になっております。この5年は自宅に近い大手建設会社の社長を委託乗務社員という形で勤務させていただいております。とても厳しい業界ではありますが、とてもやりがいを感じながら日々先輩に教を飛ばされながら、毎日奮闘しております。
運転手の仕事という一人での仕事というイメージを持っていましたが、とても人との関わりが多く、さらにとっても学ぶ事が多く、気を抜ける日は一日もありません。過ぎてみれば、1日、1週間、1ヶ月、1年があつたという間です。そしてこの仕事は、無事故・無違反が永遠の課題であり、毎年、年が明けると今年こそ〜とおもうのですが、毎日気を付けなければです。
8年前に生まれた我が子もあつたという間に生意気盛り。現在はそんな息子と過ごす時間が一番の楽しみです。時間を見つけてはハイキングや温泉。

夏休み、正月休み等は18きっぷで旅行。休日はいくらあつても足りないですね(笑)。週末になるとヘトヘトになりますが、楽しい事があると疲れを忘れてしまいますね。
最後に、皆様におかれましては無事故無違反、そして今年も充実した1年が送れます事を心よりお祈り申し上げます。
丸の内支部 小泉 裕嗣



紹介者と私

丸の内支部 山藤さんご一家

今年の干支・子^{すま}年の年男です。
17年前に兄の友人の紹介で入社しました。まったくkm国際の名前もハイヤーの存在すらも知らなかった私を、気持ち良く面倒を見て頂いた紹介者でしたが、高校の後輩でもあり、なんと親子二代続くkmマンでもありました。彼はその後、組合活動をされながら野球部の活動にも熱心でしたので、私も少しだけ参加しました。
あの当時一度だけ夏季レクでマザー牧場に家族と参加した時の組合の方々とのお世話は忘れられません。本当にお世話になりました。

現在まで続けて来られたのも、入社時の紹介者と組合役員の方々のおかげだったと改めて心より感謝しています。

定年を迎える今年、健康でいつまで続けられるか分かりませんが、お世話になつた分、もう少し頑張りたいと思います。

丸の内支部 山藤 幸彦



令和になつて……

東雲支部 千葉さんご一家

あけましておめでとうございます。
2019年は元号も令和に変わり新しい時代となりました。振り返ってみると新しい時代にふさわしいイベントが多くありました。これだけ目白押しだった年も、珍しいのではないのでしょうか?
天皇陛下の即位の儀、初めてアジアで開催されたラグビーワールドカップ。日本チームが全勝で予選を勝ち抜き悲願のベスト8に進出したこともあり、また、ラグビーのノースアイドの精神が日本人の矜持に触れたのでしょうか、多くのラグビーファンが創出されました。私もその一人です。非常に面白い話題が多かつたかと思うと、それだけではなかつたですね。

台風15号、19号、21号が立て続けに発生して国内に大きな傷跡を残す事となつてしまいました。この台風では私の実家や知人宅も被災してしまい、他人事ではありませんでした。今でもその後片付け、

修復にともなう後処理に奔走されています。この天災でお命を落とされました方とご家族には、心から哀悼の意を捧げます。
令和になつて、kmとの付き合いも4年が経とうとしています。4年の間に、我が家がいくつかの出来事がありました。娘が大学を卒業して、大手商社に就職したこと。

家内ががんに侵され2回の手術に耐えて退院してきたこと。家内は身体障害者手帳を持つ身となりましたが、3ヶ月の入院生活から、気丈に社会復帰して自宅に戻ってきました。しかしながら、退院して間もなく、買い物から帰つて電動自転車を駐輪場に入れようとした際に、転倒して大腿骨を骨折して人口骨を移植するという事態に見舞われました。3回目の手術です。3回目の手術をこなして、退院となるのに、また1ヶ月。

家内が退院してきた家族会で、娘が結婚したいとの報告。「え、このタイミングで?」
気が休まる間もなく、我が家の環境が変わつていきました。
そんな中、仕事に大きな支障をきたすことなく勤務ができたのは、班長と仲間の存在でした。特に写真を趣味に集まった仲間との小旅行、撮影旅行を通じたレク

リエーションは、ふさがちになる気持ちを癒やしてくれました。プライベートの相談に乗っていただける先輩もいたことはとてもありがたかったです。
仕事も、SRIDEや、定額運賃の実施など様々な乗車プランが提案されるスタートイヤーになりました。2020年は東京オリンピックもあり、外国から多くのお客様がお越しになります。会社の施策が成功するように現場でも頑張つていきたいと思ひます。オリンピックが東京で開催される年に還暦を迎えるのも何かの縁です。娘を通じて親戚も増え、20年にはどうやら私も「おじいちゃん」の仲間入りのようです。仕事も、ビッグイベントも、仲間とのイベントをそれぞれ楽しめるように家内ともども健康に留意して穏やかに過ごしていきたいと思います。令和の皆様にご多幸をもちますことを心から祈念いたしております。

(写真は、家内の退院祝いで行つた石垣島でのスナップです)
東雲支部 千葉 祐之



夢ある明日へ向けて活躍する

支部・分会役員紹介

第28期本部役員選挙に続き、各支部役員選挙が行われ新役員体制が発足しました。実りある運動を進めていくニューリーダーを紹介します。(太字は、中央委員兼任)

支 部

板橋支部



山岸 啓
支部長執行員

支部長執行員 山岸 啓
副支部長 中代 精一郎
副支部長 小島 吉博
財務部長 平井 徹
中央委員 高橋 誠
中央委員 大塚 将太郎
中央委員 小畑 壮一郎
職場委員 角田 智之
職場委員 川村 恵未
職場委員 新井 克
会計監査 伊藤 哲夫
会計監査 広瀬 悟

東雲支部



金久保 章浩
支部長執行員

支部長執行員 金久保 章浩
副支部長 山本 真悦
財務部長 森 健
中央委員 齋藤 竜也
中央委員 田中 寛人
中央委員 小岩 大和輝
職場委員 田中 烟一
職場委員 松田 竜哉

羽田支部



米村 尚之
支部長執行員

支部長執行員 米村 尚之
副支部長 石塚 孝宏
副支部長 森田 忠男
財務部長 磯村 昭洋
中央委員 星野 達也
中央委員 岩間 友哉
中央委員 瀧谷 悠貴
職場委員 白尾 知暉
職場委員 生見 幸一
職場委員 川村 雅也
職場委員 木村 孝充
安井 谷ケ崎 敏行
会計監査 谷ケ崎 敏行

世田谷支部



刑部 俊也
支部長執行員

支部長執行員 刑部 俊也
副支部長 須合 和洋
副支部長 竹内 博史
財務部長 田中 学
中央委員 森田 和宏
中央委員 伏見 まい
中央委員 川原 潤信
職場委員 緑上 尊加
職場委員 荒牧 実加
職場委員 花輪 類
職場委員 村田 治彦
職場委員 西林 仁子
会計監査 村田 治彦
会計監査 西林 仁子

台東支部



谷内 正美
支部長執行員

支部長執行員 谷内 正美
副支部長 深井 正幸
副支部長 浅野 敦
財務部長 佐久間 哲平
中央委員 小林 也
中央委員 篠原 亜藍
中央委員 佐藤 圭介
中央委員 福王子 清一
職場委員 北原 啓介
職場委員 渡邊 啓介
会計監査 渡邊 啓介

吉祥寺支部



大原 政巳
支部長執行員

支部長執行員 大原 政巳
副支部長 市川 俊彦
副支部長 谷部 陽一
財務部長 中田 大樹
中央委員 藤々木 政彦
中央委員 小山 貴大
職場委員 村上 達也
職場委員 野本 哲司
会計監査 野本 哲司

本部機構と役務分担

中央執行委員長	北里 裕治
中央副執行委員長	田北 章
中央書記長	石田 欽久

中央常任執行委員	神谷 浩 石崎 隆浩 中村 幸一	中央執行委員	友永 昭典 谷本 浩一 齋藤 潤 吉本 るみ 林 里紗	会計監査	小熊由紀子 三宅 秀範 堀 由紀子
----------	------------------------	--------	---	------	-------------------------

部門中央執行委員会	統括	担当	委員	部門合同執行会議
ハイヤー部門	田北 章	石崎 隆浩	谷本・齋藤	中川・小寺
タクシー部門	石田 欽久	神谷 浩	田北・中村・友永・齋藤・林	山岸・金久保・米村・刑部・谷内・大原・山本(分会長...田所)
バス部門	田北 章	中村 幸一	吉本	高畑・河合
内勤部門	石田 欽久	石崎 隆浩	谷本・林	下里

専門部・委員会	委員		
組 織 部	部 長	神谷 浩	中村・友永・谷本・齋藤・吉本・林(支部長執行員 山本・小寺・下里)
財 務 部	部 長	石崎 隆浩	友永・吉本
情 報 宣 伝 部	部 長	齋藤 潤	友永・谷本・吉本・林
調 査 部	部 長	谷本 浩一	友永・齋藤・林
厚 生 部	部 長	中村 幸一	谷本・齋藤・吉本・林
法 規 対 策 部	部 長	谷本 浩一	友永・吉本・林
文 化 体 育 部	部 長	友永 昭典	谷本・齋藤・吉本・林(支部長執行員 金久保・大原)
報 道 部	部 長	中村 幸一	友永・谷本・吉本
庶 務 部	部 長	石崎 隆浩	吉本・林
労働者供給事業部	部 長	中村 幸一	吉本・林
道交法対策委員会	委員長	谷本 浩一	友永・吉本・林
中央労金対策委員会	委員長	北里 裕治	田北・石田・神谷・石崎・中村
中央苦情処理委員会	委員長	石田 欽久	神谷・石崎・中村
火災共済運営委員会	委員長	石田 欽久	神谷・石崎・中村(調査 谷本)
組合活動救援委員会	委員長	北里 裕治	田北・石田・神谷・石崎・中村
福利共済委員会	委員長	中村 幸一	谷本・齋藤・吉本・林
自助年金運営委員会	委員長	石田 欽久	神谷・石崎・中村
査 問 委 員 会	委員長	田北 章	神谷・(中央委員会議長・同副議長・長谷川・星・大久保)
貸金専門委員会	委員長	石田 欽久	神谷・石崎・中村
安全衛生委員会	委員長	石田 欽久	神谷・石崎・中村
組織対策委員会	委員長	石田 欽久	神谷・タクシー部門中央執行委員会(タクシー部門合同執行会議)
表彰・懲戒委員会	委員長	北里 裕治	田北・石田

三鷹支部



山本 泰一
支部長執行員

支部長執行員 山本 泰一
副支部長 押久保 茂夫
副支部長 高橋 康二
財務部長 中村 伸太郎
中央委員 河合 崇
中央委員 細谷 尚之
中央委員 三戸 健太郎
中央委員 金津 久子
職場委員 道祖 真保
職場委員 宮原 桃子
職場委員 藤本 妥
会計監査 藤原 幣
会計監査 幣 匡

品川支部



中川 篤
支部長執行員

支部長執行員 中川 篤
副支部長 吉武 正徳
副支部長 高瀬 法之
財務部長 安部 雅春
中央委員 小澤 貴洋
中央委員 菊地 誠
中央委員 小田 切靖典
中央委員 大畠 幸人
職場委員 武政 敏樹
職場委員 清水 美樹
職場委員 菅原 庄一
職場委員 佐高 良之
会計監査 佐高 良之

丸の内支部



小寺 一由
支部長執行員

支部長執行員 小寺 一由
副支部長 小松 由生
副支部長 小沼 慎太郎
財務部長 池田 慶
中央委員 新井 大樹
中央委員 根 雄太
職場委員 井戸 達也
職場委員 伊藤 慎一
職場委員 森川 貴俊
會計監査 森川 貴俊

バス東京支部



高畑 純哉
支部長執行員

支部長執行員 高畑 純哉
副支部長 川越 慶治
副支部長 宮本 光一郎
財務部長 山崎 雅美
財務部長 野原 智
職場委員 村松 博雄
職場委員 伊藤 貞子
職場委員 竹井 良
職場委員 竹井 良

京都支部



河合 徹
支部長執行員

支部長執行員 河合 徹
副支部長 草壁 滋
副支部長 南出 沙葉
財務部長 寺田 寛
中央委員 穴井 寿英
職場委員 緒方 美緒
職場委員 谷口 和則
職場委員 谷口 和則

内勤支部



下里 真規
支部長執行員

支部長執行員 下里 真規
副支部長 石原 健一朗
副支部長 江利川 雄大
財務部長 恩田 裕介
中央委員 金子 友樹
中央委員 卷田 翔
中央委員 卷田 翔
職場委員 熊倉 友紀
職場委員 鶴見 幸孔
職場委員 影山 桐子

分 会

落合分会



田所 公博
分会 長

分 会 長 田所 公博
分 会 計 大島 健治



優秀賞



「メキシコ 死者の日のお客様」 岡 耕司さん(世田谷)



「近未来?」 廣瀬 勲さん(三鷹)

応募総数425点!
スマホ撮影の作品も増えました!

第27回 写真コンテスト



「ちょっと通るわよ」 高瀬 茂さん(台東)



「Unknown」 松原 輝さん(板橋)



「運動会 子供(つわもの)だけが元気かな」 梅垣 真史さん(羽田)

の醍醐味です。を止めることができます。時間をよくとらえました。瞬間をよくとらえました。瞬間をよくとらえました。瞬間をよくとらえました。



尾辻 弥寿雄氏

1945年長崎市生まれ。フリーカメラマン。社会・労働・平和問題などドキュメンタリーを中心に取材発表

- 写真展 05年「長崎—照射する夏」
- 11年「鎌倉景」
- 13年「パリの街角」
- 写真集 「長崎・照射の夏」「鎌倉景」「パリ漫歩景」

の写真を。カメラポジションがいい。「氷結の美」(富川新一(吉祥寺)ペテランらしく細心の観察が生み出す作品です。高い技術と訴求力をどう融合させるか次が楽しみです。「灯台下暗し」(小川誠(三鷹)SNSで世界的に有名となった場所です。日本の3点セットである富士五重塔・桜と、まるで絵に描いたようです。「わっ!動いた!」(高橋州司(三鷹)瞬間をよくとらえました。時間を止めることができます。瞬間をよくとらえました。瞬間をよくとらえました。

総評 前同様、応募者数200名、応募作品が400点を超える大盛況でした。今年の特徴はスマホ撮影がぐっと増えたことです。道具はなんでもあり、多くの組合員が参加することで、素晴らしい作品や楽しい作品が結集できました。入賞作品では、力強い作品や訴求力のある作品が上位を占めました。技術力だけに頼った作品は最後の競り合いで入賞ラインを超えられませんでした。作者の気合やパワーが写真に乗り移ったかどうかの競いとなりました。

今回は作者の感情溢れる作品をより多く見たいものです。期待しています。

個別評 最優秀賞は「百花繚乱」(吉川敏宏丸の内)が激戦を勝ち抜きました。一瞬で、画面いっぱい広がる花火に圧倒されました。定番の被写体ながら、見事な撮影技術で誰もが納得する作品です。優秀賞は5点で、どの作品も最優秀賞になっても不思議ではない秀作力作ばかりでした。「メキシコ 死者の日のお客様」(岡耕司・世田谷)にはドキッとさせられました。仕事がドライバーならでは作品です。「近未来?」(廣瀬勲・三鷹)アングルと画面構成が抜群で、シャープネスを効かせたデジタルならではの作品です。「ちょっと通るわよ」(高瀬茂・台東)ツアーのガイドブックに登場するような定番風景でなく、庶民生活に視点を当てたのが秀逸です。「Unknown」(松原輝・板橋)コンテスト写真から一歩抜け出した新しい作風と視点で挑戦しました。今後の応募作品の指針となるでしょう。「運動会 子供(つわもの)だけが元気かな」(梅垣真史・羽田)日常を観察して発見した作品です。題材やテーマは日常の中にあふれているという見本です。佳作は10点です。「我が家に咲いた一輪の花」(藤沼拓也・内勤)赤ちゃんは皆を幸せにしてくれます。まして我が子ならいう言葉がありません。「リアルとわか」(山本憲一・バス東京)ラグビーワールドカップで、にわかファンと堂々と見えるようになり、「風窓」(川島徹郎・台東)このコンテストにこんな心象風景が登場するなんて夢の様です。ただただ万歳です。「散歩道」(矢嶋大揮丸の内)モノクロがいい。人一人いない住宅街に犬の遠吠えだけ聞こえてきそう。ナイトクルーズ」(青島武利丸の内)デジタル加工で色を増幅させたため、バスがサイレンを鳴らしてすぐ飛んでいくよう。微動だにしない」(中村昇・世田谷)すぐそばでカメラを構えても動かないトランプと、整列した車にかけたタイトルの様です。「路地裏からひよこり」(西村正品川)住宅街をぬつて走る江ノ電ならではの写真です。カメラポジションがいい。「氷結の美」(富川新一(吉祥寺)ペテランらしく細心の観察が生み出す作品です。高い技術と訴求力をどう融合させるか次が楽しみです。「灯台下暗し」(小川誠(三鷹)SNSで世界的に有名となった場所です。日本の3点セットである富士五重塔・桜と、まるで絵に描いたようです。「わっ!動いた!」(高橋州司(三鷹)瞬間をよくとらえました。時間を止めることができます。瞬間をよくとらえました。瞬間をよくとらえました。

佳作



「我が家に咲いた一輪の花」 藤沼 拓也さん(内勤)



「リアルとわか」 山本 憲一さん(バス東京)



「散歩道」 矢嶋 大揮さん(丸の内)



「風窓」 川島 徹郎さん(台東)



「ナイトクルーズ」 青島 武利さん(丸の内)



「路地裏からひよこり」 西村 正さん(品川)



「微動だにしない」 中村 昇さん(世田谷)



「氷結の美」 富川 新一さん(吉祥寺)

中央執行部特別賞

「キャラバン走行」 南出 沙葉さん(京都)

題名からくる仕事への想いと仲間との絆、写真コンテストに賭ける想いが強く伝わる作品です。きれいな景色と空を翔ける作者の想いが明るい未来を感じさせてくれます。



「灯台下暗し」 小川 誠さん(三鷹)



「わっ!動いた!」 高橋 州司さん(三鷹)